

「コスタ・セレーナ」が北九州港に初寄港しました！

平成29年4月7日（金）8時、ひびきコンテナターミナルにクルーズ船「コスタ・セレーナ」が初寄港しました。入港後、約2,700名の乗客たちは64台のバスに乗り、門司港レトロや福岡方面へ観光とショッピングに出かけました。また、クルー向けに企画したオプションツアーには約70人が参加し、産地直送市場「海と大地」での昼食や若松恵比須神社、若松南海岸通りなどの散策を楽しみました。途中で立ち寄った高塔山では、満開の桜がクルーたちを出迎え、記念撮影をして日本の春を満喫されていました。

船内では、歓迎式典を開催し、北九州市からは小倉城が描かれたスチールアートの記念盾と花束を贈呈。アンドレア船長から、返礼の記念品「コスタ・セレーナ」のミニチュア模型を戴きました。

17時30分、若松中学校吹奏楽部による演奏が響き渡る中、中国の上海へ向けて出港しました。



「コスタ・セレーナ」 全長：290m 総トン数：114,147 t



船内の「ルナラウンジ」で行われた歓迎式典



若松恵比須神社で手水舎の使い方をレクチャー



高塔山に咲く満開の桜をたくさん写真におさめていました



乗客へ若戸大橋と関門橋が描かれたポストカードをプレゼント



北九州港へのまたの寄港をお待ちしています！